

子育て王国めぐり

病児保育室「ほっとチュッピー」❤️



アットホームな雰囲気「ほっとチュッピー」



チュッピー子育て
ほっとメール

kosodate@city.soja.okayama.jp

子育ての相談をしたくても時間がとれない人、窓口で相談しにくい人の悩みに、チュッピーと職員・保健師が答えます。



病児保育室「ほっとチュッピー」（三宅内科小児科院内）では、小学6年生以下の子どもが病気やけがで通園・通学が困難な場合に、一時的に預かります。専任の看護師・保育士が、病院併設のスペースで、子どもの状況に合わせて預かりますので、安心してご利用ください。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。病児保育室「ほっとチュッピー」（☎️08882）までお問い合わせください。

○**利用時間** 月・火・木・金曜日の午前8時30分から午後5時30分まで（30分延長可能）。水・土曜日の午前8時30分から午後0時30分まで



市ホームページ

○**利用金額** 1日2000円、半日1000円。昼食300円、おやつ1回100円（希望者のみ）

問い合わせ こども課子育て支援係（☎️08268）

学校給食 おすすめレシピ

サバのゆず味噌かけ



●材料（4人分）

- サバ…4切れ、●ゆず…1個、
- サラダ油…大さじ1、●酒…小さじ1、
- 塩…少々、
- 調味料…味噌=大さじ1、砂糖=大さじ1、しょうゆ=小さじ1、みりん=小さじ1

●作り方

- ①サバは酒と塩で下味を付け、キッチンペーパーで水分を拭き取る。
- ②フライパンにサラダ油を敷き、①を焼く。
- ③鍋に調味料を混ぜ合わせ弱火にかけ、皮をすりおろしたゆずを入れる。
- ④②に③をかける。

その他の献立 ごはん、かぼちゃのそぼろ煮、たくあん和え、牛乳

輝いている人

日本の伝統工芸を
後生に受け継いでいきたい

インタビュー
Interview



第43回全日本愛瓢会展示会で金賞を受賞した

橋本 横さん（泰）

6月に徳島県で開催された第43回全日本愛瓢会展示会で、最高賞の金賞に選ばれたのが、橋本横さんだ。

基本と工芸の2部門から構成される大会。全国から241点の出品があり、橋本さんは今回初出品で金賞を受賞した。受賞した作品は高さ約110cmの細長いひょうたん2本1組。全体に1.3cmの亀甲文様を一枚一枚、丁寧に貼り、漆を塗り重ねて完成した。「まさか自分が賞をいただけると思わなかった」と、受賞時の心境を告白する。

ひょうたんの栽培から手掛ける橋本さん。毎年3月に種をまき、9月に収穫。その年その年で形も大きさも異なる。「何ができるかわからない。そこがまた魅力。丸みを帯びた独特の形が何ともいえない。長い時間眺めていても全く飽きない」

と、目を輝かせる。6年前、岡山の展示販売会を訪れたのがきっかけで制作を始めたが、最初は手探りで見よう見まね。芸人で愛瓢家のさぶ中田さんに師事し、今では日々作品作りに没頭して時間が経つのを忘れるほどだ。

「制作過程で一番難しく根気がいる作業は、模様美しく見えるように、微妙な角度や隙間を計算しながら和紙を貼り重ねること。ひょうたんは縁起が良く、歴史もあり、奥が深い。日本の伝統工芸として、後生に受け継いでいきたい。一人でも多くの人が興味を持ってくれたら」と、今後についても話してくれた。

取材時に作品の一つ一つを手に取り、詳しく説明をしてくれた橋本さん。その実直さに来年の入賞も間違いないと確信した。